



血液は、栄養や酸素の運搬、免疫などの働きをつかさどり、人間の生命を維持するために不可欠です。がんなどの病気や治療などで、血液を十分に作り出せない患者さんは、生命を維持するために、輸血が必要です。輸血に使用する血液は、人工的に造ることや、長期保存ができず、献血に協力して下さる方々の力が必要です。

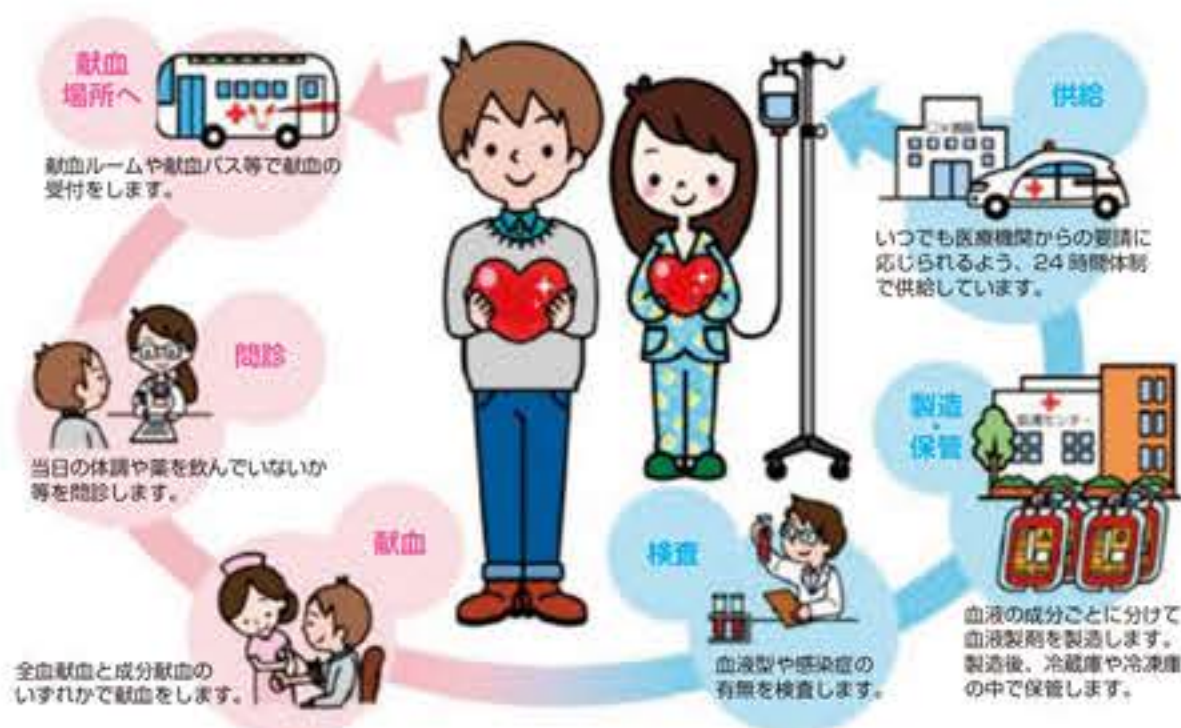
新型コロナウイルスの影響で、献血数が減少しているとのニュースが各地でありました。この記事を読み、献血に行こうと思われる方が増えると嬉しいです。

※16～69歳までの健康な方が献血可能です。

献血と骨髄バンクについて

● 献血の流れ

混雑と密を避けるため、事前予約制となっています。受付で説明と健康状態のチェックを受けた後、血液検査で血液型、ヘモグロビン濃度、血小板数の測定を行います。問題なければ、採血を開始します。採血時間は、全血献血で10～15分程度、成分献血は採血量に応じて40～90分程度かかります。献血後は休憩場所で十分に水分補給を行い、10分以上休憩した後、帰宅となります。



● 献血の種類

献血には、全血献血、成分献血があります。全血献血は、血液中の全ての成分を献血する方法です。成分献血は、成分採血装置を使用して血小板や血漿といった特定の成分だけを採血し、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法です。成分献血は、時間は要しますが、身体の負担は軽く、多くの血漿や血小板を献血できる特長があります。

● 新型コロナワクチン接種後の献血について

ファイザー社および武田/モデルナ社のmRNAワクチン接種後は、48時間が経過した後で献血ができます。その他の種類のワクチン(アストラゼネカ社等のワクチン)後については、現時点では献血できないとされています。

※厚生労働省のHPを参考にしました。

● 骨髄バンク事業について

献血センターでは、献血だけでなく、骨髄バンクドナー登録も可能です。骨髄バンクとは、造血幹細胞移植が必要な患者さんへ、非血縁者間の骨髄・末梢血幹細胞の提供をあっせんする公的事業です。白血病などの血液がんの根治治療は、造血幹細胞移植のみです。

骨髄・末梢血幹細胞のHLAという白血球の型が、ある程度合わなければ移植はできません。HLAが合う確率は、兄弟・姉妹では25%ですが、親子では稀にしか一致せず、非血縁者間では数百から数万分の1の確率でしか一致しません。そのため、広く一般からドナーを募る骨髄バンクと、皆さんの協力が必要となります。

● ドナー登録ができる方は

- ・ 骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方。
- ・ 年齢が18歳以上、54歳以下で、健康状態が良好な方。
- ・ 体重が男性45kg以上/女性40kg以上の方。

妊娠中や出産後1年未満の方や、今までかかったことのある病気次第では、ドナー登録できない場合もあります。詳細は日本骨髄バンクのホームページをご参照ください。 ※日本骨髄バンクのHPを参考にしました。

血液内科医師

新山

侑生

